

人権連続講座2020 ～オリンピック・パラリンピックに向けて～ 実施内容（予定）

第1回「スポーツと共生社会～東京2020大会を迎えるにあたって～」

日時：令和2年1月30日（木曜日）午後6時45分から午後8時30分まで（開場：午後6時15分）
会場：東京都人権プラザ セミナールーム（港区芝2-5-6 芝256スクエアビル1階）
講師：舛本 直文 氏（首都大学東京特任教授）
内容：オリンピックやパラリンピックを巡る様々な出来事やレガシーの考え方について解説し、スポーツが社会に及ぼす影響について、人権の視点から考える機会を提供します。
定員：80名（要事前申込み。応募多数の場合は抽選）

第2回「見えないスポーツ図鑑」体験会

日時：令和2年2月22日（土曜日）午後2時から午後4時まで（開場：午後1時30分）
会場：港区立御田小学校 体育館（港区三田4-11-38）
講師：伊藤 亜紗 氏（東京工業大学リベラルアーツ研究教育院准教授）ほか
内容：視覚障害者とともにスポーツを観戦する方法を体験する企画です。
ウェブコンテンツ「見えないスポーツ図鑑」から、「卓球と鍋蓋」「ラグビーとキッチンペーパー」「柔道とフラフープ」等の事例を紹介し、参加者とともに体験します。視覚を使わないからこそ見えてくる、スポーツの本質に迫ります。
定員：80名（要事前申込み。応募多数の場合は抽選）

第3回「希望の義足～ルワンダの復興とパラリンピックへの道～」

日時：令和2年3月14日（土曜日）午後6時30分から午後8時30分まで（開場：午後6時15分）
会場：墨田区立曳舟文化センター 劇場ホール（墨田区京島1-38-11）
講師：ルダシングワ 真美 氏（義肢装具士）ほか
内容：1994年に大虐殺があったルワンダで、義肢や装具を無償で製作・提供する活動を行っている講師に、その活動のきっかけや、2000年のシドニーパラリンピックにルワンダチームの一員として初めて参加したときの経緯等について講演いただきます。
定員：500名（要事前申込み。先着順）

第4回「スポーツが与える『生きる力』」

日時：令和2年4月11日（土曜日）午後2時から午後4時まで（開場：午後1時30分）
会場：東京都人権プラザ セミナールーム（港区芝2-5-6 芝256スクエアビル1階）
講師：平山 讓 氏（作家）
内容：様々な困難に直面した人がスポーツにかける姿を小説やノンフィクション作品等で描いてきた講師に、スポーツが与える「生きる力」について講演いただきます。
定員：80名（要事前申込み。応募多数の場合は抽選）

第5回「スポーツ漫画の系譜学」

日時：令和2年5月22日（金曜日）午後6時45分から午後8時30分まで（開場：午後6時15分）
会場：東京都人権プラザ セミナールーム（港区芝2-5-6 芝256スクエアビル1階）
講師：吉村 和真 氏（京都精華大学副学長、マンガ学部教授）
内容：スポーツをテーマにした漫画には、「アタックNo.1」「サインはV」などオリンピックレガシーとして人気を集めたものがあります。一方で、後にアスリートとなる人々の中には、それらを読んで育ち、影響を受けた人もいます。サブカルチャーとスポーツの関係を俯瞰しながら、女性の社会進出など人権の視点から考える機会を提供します。
定員：80名（要事前申込み。応募多数の場合は抽選）

第6回「人権教育・人権啓発の現状と課題：2020を越えて」（仮）

日時：令和2年6月13日（土曜日）時間未定
会場：未定
講師：登壇者について調整中
内容：東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に人権教育・人権啓発をより前進させるため、現状と課題を検討するシンポジウムを開催します。基調講演のほか、全国の人権啓発組織等の関係者に登壇いただく予定です。
定員：200名程度（要事前申込み。先着順）

詳細は決まり次第、ホームページ等でお知らせいたします。